

ナレフルチャット

管理者向けマニュアル



CONTENTS - 目次 -

※テキストクリックで該当のページに遷移します

[01.アカウント開設・ユーザ招待](#)

[04.オプション機能のご紹介](#)

[チャット詳細ログ\(ヘルプ\)](#)

[02.クレジットとは](#)

[05.よくある質問](#)

[03.機能管理](#)

[AIモデル設定](#)

[利用ログ](#)

[クレジット利用制限](#)

[パワーユーザ](#)

[利用機能制限](#)

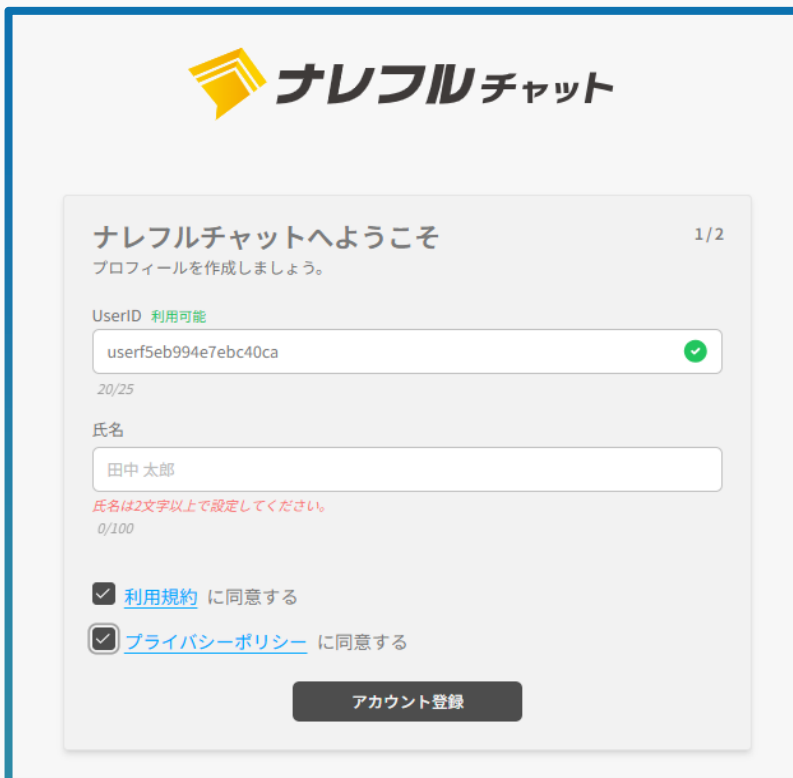
[06.リンク集](#)

[07.ヘルプ](#)

01

アカウント開設・ユーザ招待

アカウント開設後、まずシステム管理者自身の設定を行います。



【設定手順】

1. ナレフルチャットログインページにアクセス
2. 開設メールの「メールアドレス」と「仮パスワード」を入力
3. 新しいパスワードを設定してログイン
4. 氏名を入力し、利用規約・プライバシーポリシーに同意
5. 企業管理ツールにログイン

この設定完了後、他のユーザを招待できます

【3つの招待方法】

- 01 個別招待**
メールアドレスを登録し、招待メールを送信
- 02 CSV一括登録**
大量のユーザのアドレス、氏名、部署等を、管理側でまとめて登録
- 03 シングルサインオン(SSO)**
企業の認証基盤と連携したログイン認証 ※Bizプラン以上でご利用いただけます

【実施可能な権限】

システム管理者、ナレチャ運用者

メールアドレスのみで招待します。氏名は招待されたユーザが設定します。



【招待時の流れ】

1. 企業管理ツールにログイン後、[ユーザ管理]を選択
2. [ユーザを招待]を押す
3. 招待したい方のメールアドレスを入力
4. [招待を送信]を押す

【招待後の流れ】

- 招待メール送信:
【ナレフルチャット】アカウント招待のお知らせ
- メールに仮パスワードが記載
- ユーザがログイン後、アカウントを有効化



複数人の同時招待も可能



- 仮パスワードの有効期限:発行日から30日間
- 有効期限を過ぎた場合は、既存の招待を一度無効化したうえで、再度招待してください

メールアドレス、氏名、仮パスワード、権限、部署を指定して招待します。



【招待する側の操作】

1. 管理ツールの[ユーザ管理]にアクセス
2. [CSV更新]をクリック
3. [CSV新規登録]を選択
4. [フォーマットダウンロード]からCSVをダウンロード
5. フォーマットに情報を入力
6. CSVファイルをアップロード
7. [CSV更新]をクリックして一括登録を開始

【招待を受ける側の操作】

- ・受信した送信メールを確認 件名:
【ナレフルチャット】アカウント招待のお知らせ
- ・メールに記載された仮パスワードで仮ログイン
- ・パスワードや氏名を本設定し、アカウントを有効化



最大5,000人まで一度に処理可能

対応しているSSO

※該当するサービスをクリックすると設定方法をご確認いただけます

[EntraID SAML](#)

[LINE WORKS SSO](#)

[HENNGE SAML](#)

[Okta SAML](#)

[GMOTラストログイン](#)

[サテライトオフィス-ネクストセット](#)

[CloudGate UNO SAML](#)

[Google workspace](#)

[ID Entrance](#)

管理ツール>セキュリティ>ユーザ認証設定

※対象サービスの、ポータルサイト内での案内をご確認ください。

権限詳細	ダッシュボード	ユーザ管理	機能管理	クレジット管理	利用プラン	セキュリティ
システム管理者	○	○	○	○	○	○
ナレチャ運用者	○	○	○	×	×	×
支払担当者	○	×	×	○	○	×
パワーユーザ	×	×	×	×	×	×
一般ユーザ	×	×	×	×	×	×

- ユーザ毎の権限はユーザ管理画面から変更可能
- CSV更新>CSV一括編集 から一括で権限を変更することも可能
- パワーユーザについては、機能管理>パワーユーザ管理から設定可能

※AIモデル利用設定や機能制限、クレジット利用制限などの各種利用制限を緩和するユーザ
※システム管理者、ナレチャ運用者はパワーユーザとしても扱う

02

クレジットとは

クレジットとは

ナレフルチャットでは、AIモデルを利用する際に「クレジット」を消費します。利用するAIモデルの種類や利用方法に応じて、同じ行動でも消費するクレジット数は変動します。画像生成や議事録生成、WEB検索などの機能もクレジットを消費します。

チャット利用の場合 GPT-5利用

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{クレジット数} \\ \hline 1,000 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{送受信可能な文字数} \\ \hline 1,300\text{万文字} \\ \hline \end{array}$$

画像生成の場合 「指示文:約1万文字」「添付画像:1枚」で、画像を1枚生成した場合の消費クレジット例

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{指示文で消費する} \\ \text{クレジット} \\ \hline 0.1 \\ \hline \text{(1,000文字の場合} \rightarrow 0.01) \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{添付画像} \\ \hline 0.02 \sim 0.11 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{画像生成} \\ \hline 1.32 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{消費クレジット} \\ \hline 1.44 \sim 1.53\text{クレジット} \\ \hline \end{array}$$

Nano Banana利用

議事録生成の場合 60分の動画を文字起こし(約1万文字)して、議事録(約1万文字)を生成

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{音声入力} \\ \hline 0.022 \times 60\text{分} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{出力} \\ \hline 0.84 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{入力} \\ \hline 0.49 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{出力} \\ \hline 3.92 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{消費クレジット} \\ \hline 6.57\text{クレジット} \\ \hline \end{array}$$

※「[標準精度]文字起こし」、「議事録の整形」では、応答前に実行する思考過程にも出力クレジットが必要となります。

[標準精度]文字起こし利用

03

機能管理

企業内で利用可能な機能やAIモデルを柔軟に設定

【管理できる項目】

- 01 AIモデル設定**
モデル毎に利用可否を設定
- 02 利用ログ**
誰が、いつ、何を使ったか確認 ※Bizプラン以上、またはオプションで利用可
- 03 クレジット利用制限**
ユーザ毎、企業毎でクレジットの利用上限を設定
- 04 パワーユーザ管理**
各種制限を緩和するユーザを設定
- 05 利用機能制限**
機能単位での利用制限を設定

ユーザが利用できる生成AIモデルなどを管理

【モデルセット】

選択するとAIモデル一覧の設定が自動でセットされます。

【各モデルセットの詳細】

全てのモデル

すべてのモデル(一部の古いモデル、DeepResearchを除く)が「すべてのユーザ」にセットされます。

ナレチャおすすめ:性能、クレジット消費をバランスよく使いたい場合

公式がおすすめするAIモデルがセットされています。古いモデルや非常にクレジット消費が高いモデルは、「利用不可」にしつつ、最新のモデルを「すべてのユーザ」が利用できるモデルセットです。

高クレジット除外:クレジット消費の過剰な消費を避けたい場合

クレジット消費が高いAIモデルを除くAIモデルがセットされます。

クレジット消費が高いモデルはパワーユーザのみに利用して、一般ユーザにはクレジット消費を抑えたモデルを利用。

低クレジット厳選:リーズナブルに使いたい場合

低クレジットを主軸にしたモデルセットです。

※いずれのモデルセットも選択後に「AIモデル一覧」からモデル毎に利用設定を変更することができます。



ユーザが利用できる生成AIモデルなどを管理

【新規モデル追加時の利用設定】

デフォルト利用設定を適用する

「デフォルト利用設定を適用する」を選択すると、新しく追加されたモデルは、初期の利用設定がナレフルチャット運営チームが設定したものになります。

無効にする

新しく追加されたモデルは一律で最初は「利用不可」の設定になります。

【モデルセット設定:利用不可の自動適用】

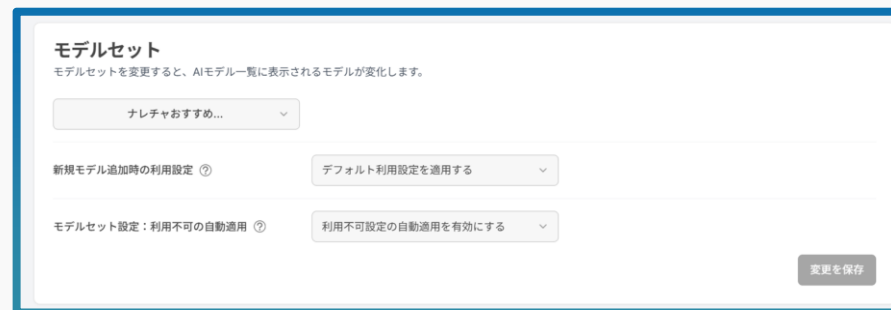
利用不可設定の自動適用を有効にする

モデルの追加により、上記モデルセットの内容が更新された際に利用不可になったモデルを自動で利用不可に設定します。古いモデルなどが適切なタイミングで利用不可に設定されます。

※既に利用不可に設定されているモデルを「すべてのユーザ」「パワーユーザのみ」に変更することはありません。

無効にする

上記モデルセットの内容が更新された場合もAIモデルの設定は変更されません。



いつ、誰が、どんな機能を、どのモデルで、
どれぐらいクレジットを使用したかなどの利用情報を確認できる機能

利用日時	メールアドレス	部署	機能種別	モデル名	概要	合計クレジット (入力 / 出力)
2025/09/18 17:39	knowlefulchat@g...	企画・運営	画像生成	標準 (GPT Image 1)	ロボット店員のコンビニ	0.6034 (0.00 / 0.60)
2025/09/18 17:32	knowlefulchat@g...	企画・運営	チャット (プログ...	Gemini 2.5 Pro	IMAPによるメール自動振り分けPythonコードの作成	0.7767 (0.18 / 0.60)
2025/09/18 17:31	knowlefulchat@g...	企画・運営	プロンプト自動生成	-	-	0.4817 (0.26 / 0.22)
2025/09/18 17:30	knowlefulchat@g...	企画・運営	チャット (エンタ...	Claude Sonnet 3.7 (標準)	動画生成の歴史についての解説	0.3542 (0.00 / 0.35)
2025/09/18 17:30	knowlefulchat@g...	企画・運営	チャット (調査)	Sonar	ディープフェイクによるトラブル事例の紹介	0.0005 (0.00 / 0.00)

【閲覧可能な権限】

システム管理者、ナレチャ運用者

(概要はシステム管理者のみ閲覧可)

【対象プラン】

Bizプラン、エンタープライズプラン、無料トライアル中

Proプラン向けオプション申込:<https://manage.knowleful.jp/options/usage-log>

過度な利用を防止するため、クレジット利用上限を設定可能

クレジット利用上限の基本設定

時間単位、日単位でクレジットの利用上限を設定し、過度な利用を防止することができます

個人基本 時間 単位

時間単位で個人の利用を制限する

20

前月利用データ
平均利用数：10.65 Crd/時間
最大利用数：137.60 Crd/時間

個人基本 日 単位

日単位で個人の利用を制限する

50

前月利用データ
平均利用数：28.82 Crd/日
最大利用数：616.06 Crd/日

個人基本 月 単位

月単位で個人の利用を制限する

前月利用データ
平均利用数：153.08 Crd/月
最大利用数：1753.42 Crd/月

企業 日 単位

日単位で企業の利用を制限する

前月利用データ
平均利用数：80.72 Crd/日
最大利用数：713.51 Crd/日

ユーザ単位で利用上限を設定

ユーザを指定してクレジット利用上限を設定できます。
設定された利用上限は、個人基本の利用上限よりも優先して適用されます。

対象者を検索 (氏名/メール) 部署を選択 有効社員のみ表示

対象者 へ	部署	時間上限	日上限	月上限	操作
テストマン (mi-akiyama@clinks.jp)	開発部, 情報システム部	10	20	300	⋮
ナレフルチャット サポート (s-fukushima@clinks.jp)	ナレフルヘルプ	上限なし	上限なし	上限なし	⋮

【制限できる設定】

- ・ ユーザ全体に対して、一律で「時間/日/月」でクレジットの利用を制限
 ※パワーユーザに対しては、ユーザ全体での制限は適用されませんが、「ユーザ単位で利用上限を設定」にて制限が可能です。
- ・ 企業全体に対して、「日」でクレジットの利用を制限
- ・ 指定したユーザ毎で「時間/日/月」でクレジットの利用を制限

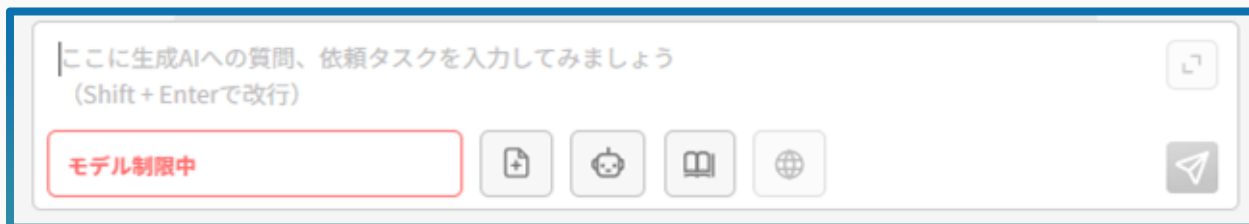
各項目に前月の平均利用数と最大利用数が表示される → 設定の目安として活用できます

制限モード

企業全体の利用クレジット数が月間上限に達すると、制限モードに移行します。

制限モードでは、AIモデル選択や画像生成、WEB検索などの一部機能が制限されます。

モデルは自動的に軽量モデルが選択されます。

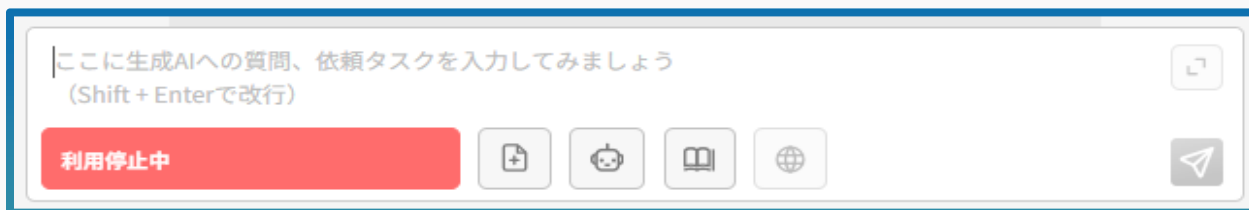


利用停止状態

利用クレジット数が基本クレジット数またはクレジット制限を大幅に超過した場合、利用停止状態に移行します。

クレジットを消費する操作は実行できなくなります。

チャット履歴の閲覧や管理ツールの操作などクレジットを消費しない操作は可能です。



AIモデル設定や機能制限、クレジット利用制限などの各種制限を緩和するユーザを設定

パワーユーザ管理

AIモデル設定や機能制限、クレジット利用制限など、各種利用制限を緩和するユーザ「パワーユーザ」を設定することができます。
※各種利用制限が緩和されるだけで、管理ツールへのアクセス権限はユーザ管理で設定する必要があります。

自動でパワーユーザとして扱われるユーザ

- ・「システム管理者」権限を持つユーザ
- ・「ナレチャ運用者」権限を持つユーザ

※上記権限を持つユーザは、個別に設定する必要はありません。

登録済みパワーユーザ

+ パワーユーザ新規登録

設定を保存

【登録方法】

1. [+ パワーユーザ新規登録]をクリック
2. 対象ユーザのメールアドレスを入力
3. [追加]をクリック

※ システム管理者、ナレチャ運用者は 自動的にパワーユーザとして扱われます

機能単位での利用制限が可能

【制限可能な機能】



チャット内の機能制限



WEB検索方式



画像生成



議事録



エージェント



チーム



ファイルアップロード



チャット内の機能制限

【チャットのWEB検索】

チャットでのWEB検索の利用の可否、回数の制限

【OpenAI Deep Researchの回数制限】

時間単位・日単位の制限

※Deep Research は非常に多くのクレジットを消費します。※AIモデル設定にて利用自体を制限することが可能です。

【チャットサイズに関する設定】

チャットサイズ(1つのチャットルームで送信できるサイズ(文字数))の設定が可能です。

最長チャットサイズを小さくすると1つのチャットルームで送信できる文字数は制限されますが
入力クレジットの消費を抑制することができます。

最長チャットサイズ

設定値を超えたチャットルームでは、追加のチャット送信ができなくなります。
推奨設定範囲:100,000文字~200,000文字(デフォルト200,000文字)

警告表示サイズ

設定値を超えると新たなチャットルーム作成を促す表示が出ます。
推奨設定範囲:40,000文字~100,000文字(デフォルト60,000文字)

The screenshot shows the 'チャット' (Chat) settings page. It includes a table with columns for '機能名' (Feature Name) and '利用可能ユーザ' (Available Users). The 'チャットのWEB検索' (Chat Web Search) feature is set to '全てのユーザ' (All Users). Below this, there are dropdown menus for '全てのユーザで回数を制限する' (Limit number of times for all users) and '全てのユーザでサイズ制限する' (Limit size for all users). The 'OpenAI Deep Researchの回数制限' (OpenAI Deep Research usage limit) section has input fields for '時間単位の利用回数' (2 times) and '日単位の利用回数' (4 times). The '最長チャットサイズ' (Maximum chat size) section has an input field for '160,000' characters. The '警告表示サイズ' (Warning display size) section has an input field for '40,000' characters.



WEB検索方式

各AIプロバイダーのWEB検索特長

OpenAI

プロンプトに合わせて、複数回の検索を実行します。
複雑なプロンプトや多岐に渡る調査で高精度な回答が期待できますが、反面クレジット消費は多くなる傾向にあります。
※DeepResearchに近い挙動をする場合があります。

Anthropic

バランスよくWEB検索が実行され、補足情報としての的確にWEBコンテンツを抽出したい場合におすすめです。
取得したWEB情報が入力クレジットとして消費されないため、コストパフォーマンスも高いです。

Google

バランスよくWEB検索が実行されます。
取得したWEB情報が入力クレジットとして消費されないため、コストパフォーマンスも高いです。
※Anthropicよりも検索ページ数は少ない傾向にあります。

xAI

X(旧Twitter)の内容も検索対象になるため、Xのトレンドを把握したい場合におすすめです。

ナレチャ標準

消費クレジットは、各AIプロバイダーよりも同等くらいか少し低くなる傾向にあります。
特に軽量モデルで利用する場合は、ナレチャ標準がコストパフォーマンスが高くなります。

WEB検索方式	
機能名	検索方式 ②
OpenAI系モデルのWEB検索方式 ②	OpenAIのWEB検索を優先利用
Anthropic系モデルのWEB検索方式 ②	AnthropicのWEB検索を優先利用
Google系モデルのWEB検索方式 ②	GoogleのWEB検索を優先利用
xAI系モデルのWEB検索方式 ②	xAIのWEB検索を優先利用

04

オプション機能のご紹介

チャットの送受信内容を全文確認できるオプションサービスです。
利用ログの概要とは異なり、チャットの全文を確認することができます。
チャット詳細ログは管理ツール上の確認だけでなく、CSV形式でダウンロードすることも可能です。

利用日時	メールアドレス	ルームID	モデル名	メッセージNo	送受信	チャット本文
2025/10/21 19:11	knowlefulchat@knowleful.co.jp	8fa534f9-8b07-421f-9112-212d326e4e1a	GPT-5 mini (標準)	1	送信	私は今日初めて仕事でAIチャットを利用します
2025/10/21 19:11	knowlefulchat@knowleful.co.jp	8fa534f9-8b07-421f-9112-212d326e4e1a	GPT-5 mini (標準)	2	応答	それは素晴らしいですね！初めてAIチャットを仕事で使う際に役立つポイントを簡単にまとめますね。 - 目的を明確にする：何を達成したいか（資料作成、アイデア出し、メール文案、データ分析の補助など）を最初に伝えると、的確な回答が得られます。 - 指示は具体的に：出力形式（箇条書き、メール文、スライド用の見出しなど）や文字数、トーン（フォーマル/カジュアル）を指定すると使いやすくなります。 - 機密情報に注意：個人情報や機密データは原則入力しないでください。必要な情報は匿名化や要約で代用しましょう。 ... チャット全文を表示

【利用可能権限】
システム管理者のみ

【確認できる項目】
利用日時、氏名、メールアドレス、部署、ルームID、チャットタイトル、モデル名、メッセージNo、送受信、チャット本文

【利用目的(以下に該当する場合のみ利用可)】

- ✓ 不正行為の事実確認のため
- ✓ セキュリティインシデントの調査のため
- ✓ 監査・内部統制に必要な検証のため

【対象プラン】

Bizプラン、エンタープライズプランをご利用の方はオプション機能として申し込みが可能です。

オプション申込:<https://manage.knowleful.jp/options/chatdetails>

05

よくある質問

Q

当月内で使用できなかったクレジットは翌月に持ち越せますか。

基本クレジットの未使用分の翌月持ち越しはできません。追加クレジットは購入した月の翌月末日まで有効です。

Q

利用クレジット量が基本クレジットを超えたらどうなりますか。

制限モードもしくは利用停止状態になり、一部の機能が利用できなくなります。

[参考ページ:機能管理 クレジット利用制限\(P16\)](#)

Q

ユーザ削除すると、削除ユーザが共有したチャットやエージェントはどうなりますか？

削除ユーザが作成したコンテンツも同時に削除されますので、コンテンツの共有を受けていたユーザは使用できなくなります。なお、退職日を設定する方法では、当該ユーザをログイン不可にしつつ、対象コンテンツは引き続き保持されます。

Q

請求書の宛先を変更したい。

宛先はシステム管理者および支払い担当者宛となりますので、企業管理ツールのユーザ管理から適宜変更等の実施をお願いいたします。

メーリングリストなど特別な送付先をご指定されたい場合は、以下のフォームよりご依頼ください。

[フォーム:ナレフルチャット請求に関するご依頼](#)

06

リンク集

ユーザ招待

メールアドレスまたはCSVデータからユーザ招待ができます。

ダッシュボード

ナレフルチャットのログイン数や利用者数、送信チャット数、利用クレジット数のサマリーを確認することができます。

クレジット利用制限

一部のユーザがクレジットを過剰に利用しないよう、ユーザ毎、企業毎でクレジットの利用上限を設定することができます。

利用ログ

いつ、誰が、どんな機能をどのモデルでした等の利用情報を確認できる機能

Proプランのお客様の利用ログお申し込み → [利用ログオプション](#)

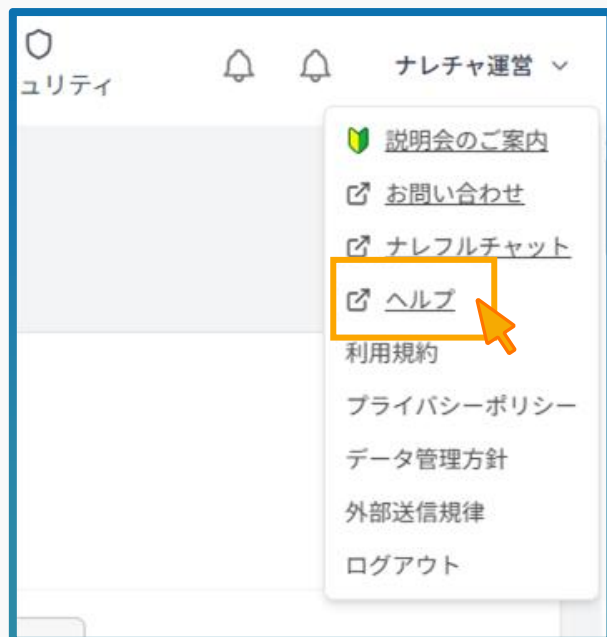
チャット詳細ログ

いつ、誰が、どのようなチャットの送受信したか全文確認できるオプションサービス

チャット詳細ログのお申し込み → [チャット詳細ログオプション](#)

07

ヘルプ



- ①管理ツール画面右上の[ご自身の氏名]とクリック
※画像内の氏名は「ナレチャ運営」となっています。
- ②[ヘルプ]をクリック